

EAST CLOUD

東中・校内研修

令和4年度 富岡市立東中学校
 令和4年11月15日(火)
 発行者:萩野裕介
 校内研修だより No.



【研修テーマ】

『思考力・判断力・表現力を身に付けた生徒の育成』

～1人1台端末の効果的な活用を通して～



～一人一授業④を終えて…!!～

村田先生、大嶋先生、青山先生、ありがとうございました！**授業者の学び**はもちろんですが、**参観者の学び**も多かったのではないのでしょうか？「他教科だから関係ない」ではなく、「**自らの力に変えよう**」と熱心な意見交流が検討会でも行われていました。一人一授業を「**作業**」とするのではなく、職員全体の「**トレーニング**」の場として、これからも活用していきましょう！！

先生方に提出していただいた「まとめ」から、特に大切だと思ったことを「**#研修のバトン**」としてまとめました。

【#研修のバトン】

・ジャムボードに何を書かせるかが大切

→「キーワード」を書かせるだけにして、意見交流に繋げる

・他教科との関連性

→教科横断を意識することで時間短縮・生徒の成長に繋げる

・単元全体のデザイン

→この1時間にやるべき事は？なぜそれをするのか？明確に！

・「協働的な学習の時間」と「個別最適な学びの時間の区別」

→なぜ、その活動をしているのか？明確に！



【英語・1年】村田 真子 1年2組教室

「ホゼ先生のお母さんからのメッセージに応えよう！」

村田【英語】

4技能◎習得技能順◎ 子どもたちについていけない授業で良かったです。	生徒への英語での指示に対する支援が充実	メモ英語◎	ゴールの設定→振り返りの繋がり	技能面・内容面	ジャムボードの時間をもう少し長く取れると良かった。	疑問詞は既習内容になるので、本時はさらっと全体で確認→考える時間を増やしたかった	ていねいな指導であった反面、まとめ振り返りの時間がなくなりました。
一つ一つ丁寧に説明ができていて、生徒が納得している様子が見られた。	英語の4技能が入った授業	個別→グループ	All English	班で活動する時の指示の出し方を工夫することで、時間が多少短縮できたか？	個人で聞く活動：指示があいまいなので、視点を与えたりメモを取りながら聞かせるとういと思った	「回答メモを書くことのできる」・・・ねらいは、どうだったでしょうか？	
思考ツール◎	小学校での既習事項を把握し、思考を巡らす時間を増やしても良いと思います	授業全体から、先生が生徒へ頑張れ！という気持ち伝わる授業でした。	1のWarm upは、ペアにして発話量を増やすと短時間で更に色々な単語が飛び交って復習に繋がられるかもしれません。	ホゼママが何を求めているのかを確認する時間を取りすぎた。何を聞き取って欲しかったかを焦点化するとい	変化の見られるjamboardにしたかった。		
単語から内容へ入る段階的な指導	子どもたちがよく反応していた。	長文の書き方・段落→メールでのやりとり・繰り返し使えるWS	教師の説明と生徒の機器利用がスムーズよかった	子どもたちがタブレットを使いこなしている。また、1年なのに	単語のハイライトや内容の確認に時間がかかってしまった。	あらかじめ、線を引いてあるドキュメントの用意があるとより良かった。	
warm upは全員質問できるgoogleの「質問機能」を使うとみんな考えて面白い質問出せるかなと思いました				英語の説明の後、Please start→生徒が理解していない単語、少しやり取りをして進めると良い？			

～11/14の指導案～

以下の方法で閲覧・ダウンロードができます（パソコン、タブレット、スマホ等）

①QRコードを読み込む

②リンク(URL)をクリック

※資料を保存している Google ドライブに接続されます。

https://drive.google.com/drive/folders/1HoyX3gE6B_wvRVJz2fTF2VfYgK8Q-kom?usp=sharing



